



風は海から

令和6年4月30日

令和6年度

横浜市立西富岡小学校

学校だより5月号

4月をふりかえって

横浜市立西富岡小学校

副校長 岡田 洋平

穀雨の候、保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動へのご理解・ご協力ありがとうございます。この4月に副校長として着任いたしました、岡田洋平と申します。前任校では学級担任や児童支援専任を経験し、3月まで1年生の担任をしておりました。

今、巻頭言を書きながら、4月を振り返ると、とても明るく、気軽に声をかけてくれる子どもたちに出会えたことが印象的でした。職員室に鍵を取りに来る旧放送委員会の6年生は挨拶が上手です。廊下を歩いていると、「副校長先生はどんなお仕事をしていますのですか？」と質問してくれた子どもがいます。「学校の宿題をたくさんしているよ。」と応えると、「頑張ってください。」と励ましてくれました。休み時間に校庭の様子を見に行くと、たくさん子どもたちが「副校長先生、こんにちは。」と笑顔で挨拶をしてくれます。教室に一步入ると、新しく学習した漢字をとても丁寧に書こうと熱心に取り組む子どもがいます。本校の子どもたちのよさをたくさん感じる事ができました。そんな温かい心をもった子どもたちは、本校にとって宝であります。私たち教職員は丁寧に寄り添い、一丸となって支援していきたいと思えます。

学校だよりは本来、子どもたちの学校での様子をお伝えするものだと考えております。しかし、今回は、教職員のことにも触れさせていただきたいと思えます。本校の教職員は子どもたちのことをよく考えています。特に、4月は休み時間に多くの子どもたちとかかわろうとする姿がたくさん見られました。一緒に校庭に出て、力いっぱい遊ぶ教職員、一緒に歩きながら、生き物探しをする教職員、実行委員などで会のリハーサルを子どもと一緒にする教職員、子どもたちが安全に学校生活を送れるように、環境整備をする学校用務員、朝早くから子どもたちのために給食を作る給食調理員、子どもたちの話に耳を傾ける養護教諭、図書室で読書を楽しむ子どもたちを見守る学校図書館司書、様々な立場の教職員が子どもたちの日々の学校生活を支えています。立場は異なりますが、どの教職員も子どもたちのことを考えて、日々、邁進しております。私はそんな職員集団の一員になれたことを、うれしく感じた4月でした。

今年度も、保護者や地域の皆様とともに、子どもたちの成長を感じていきたいと思えます。本校児童ならびに、教職員のことを、温かく見守っていただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



◆◆◆お願い◆◆◆

- 登下校の際に、学校近くまで車やバイクで送迎しているご家庭があるようです。他の児童の登下校の安全のために、車やバイクでの送迎はお控えください。やむを得ず車での送迎が必要な場合は、副校長までご相談ください。
- 今年度から登校時刻が変更になっています。4月は開門時刻まで外で待っている児童がたくさんいました。登校時刻に合わせて、家を出る時間の見直しをお願いします。